

伊豆半島は南の海で生まれ、本州と衝突して陸地となりました。この特異な成り立ちは、海と陸の記憶を刻み込んだ地層や地形を私たちに見せてくれます。世界的にも貴重な伊豆半島だけのジオの美しさ、ジオの恵みの豊かな食、温泉、そして文化を訪ねてみませんか。

#### 伊豆半島へのアクセス



## 伊豆半島まるごとミュージアム

南の海で生まれた火山島が北上を続け、60万年前に本州と衝突。陸上で火山活動を繰り返しながらできた大地が伊豆半島です。この成り立ちと共に形成された自然と文化は見応え充分。伊豆半島は“まるごとミュージアム”です。

### 伊豆半島の成立 ~地球上の特異点~

伊豆半島の歴史は、約2000万年前にさかのぼります。当時の伊豆は、本州からはるか南のかなた数百km先の太平洋の海底に沈む火山島でした。その後、フィリピン海プレートの北上の動きに合わせて、日本の本州に接近・衝突。現在の半島の形になりました。約60万年前のできごとです。衝突後、20万年前までは、半島のあちらこちらで噴火が続きます。天城山や達磨山といった伊豆の大型火山が誕生し、現在の伊豆半島の骨格を形づくりました。これら大型の火山の活動が終わると、日本には数少ない単成火山群の活動が始まります。大室山に代表される「伊豆東部火山群」の誕生です。また、フィリピン海プレートの動きは、現在も伊豆半島を本州に押し込み続けていて、緩やかな地殻変動が、伊豆の大地の多様性を今なお育み続けています。こうした二重三重の地質学的特異点ともいえる場所となっているのです。



## 南から来た火山の贈りもの

### 伊豆半島ジオパーク

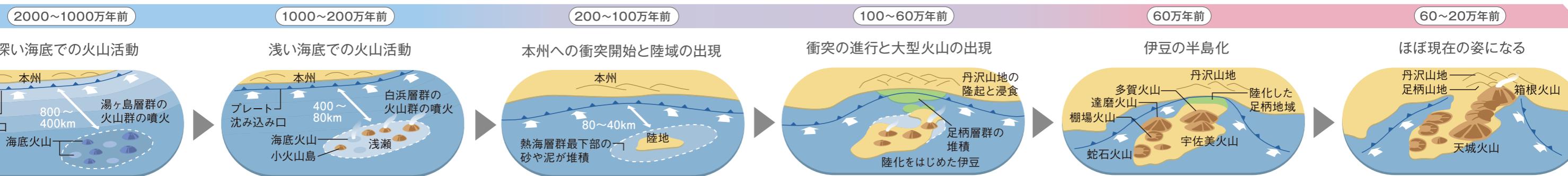
# 伊豆ジオMAP



ジオパークとは…  
私たちの足元にある大地を、学び・遊び・大切にする、そんな自然公園です。



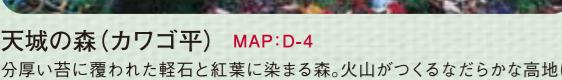
#### 伊豆半島ができるまで



### 中伊豆

天城山を作った火山活動は、豊富な地下水と身体と心を癒してくれる深い森を作りました。

伊豆半島の最高峰である天城山は、80万年前から20万年前に繰り返された噴火で作られました。この大きな火山を形づくる溶岩や火山灰のすきまにはたくさん地下水が蓄えられ、豊富な湧水を生み出しています。中伊豆ではこの沢の清らかで冷たい水を利用したわさび田が作られ、良質なわさびが栽培されています。さらに、火山灰は長い時間をかけて肥沃な土壌となり森林を作り出します。天城の森も火山の恵みをふんだんに受けた豊かな森となりました。



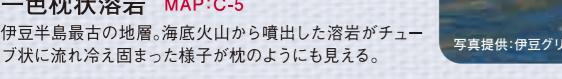
天城の森(カワゴ平) MAP:D-4

分厚い苔に覆われた軽石と紅葉に染まる森。火山がつくるなだらかな高地には豊かな森が形成されています。

### 西伊豆

港近くの深海は、伊豆半島が海の旅をして来た証し。タカアシガニは深海の恵みの代表です。

伊豆半島の西側にある駿河湾は、フィリピン海プレートの沈み込みに伴い、2000mを超える深い海を作りました。港から近い場所にある深い海は、戸田を代表するタカアシガニや深海魚の宝庫です。プレートとともに移動してきた伊豆だからこそ生み出された特徴的な産物と言えます。西伊豆地域の多くの場所は、伊豆が海底火山だった時代の火山噴出物でできています、波に洗われる海岸に続く白く美しい崖のまわりでは、カヤックなどのマリンレジャーも盛んです。



一色枕状溶岩 MAP:C-5

伊豆半島最古の地層。海底火山から噴出した溶岩がチューブ状に流れ冷え固まった様子が枕のようにも見える。



浮島海岸の夕日 MAP:B-5

駿河湾に沈む西伊豆の夕日。海底火山のつくった海岸線が夕日にさまざまなアクセントをあたえる。

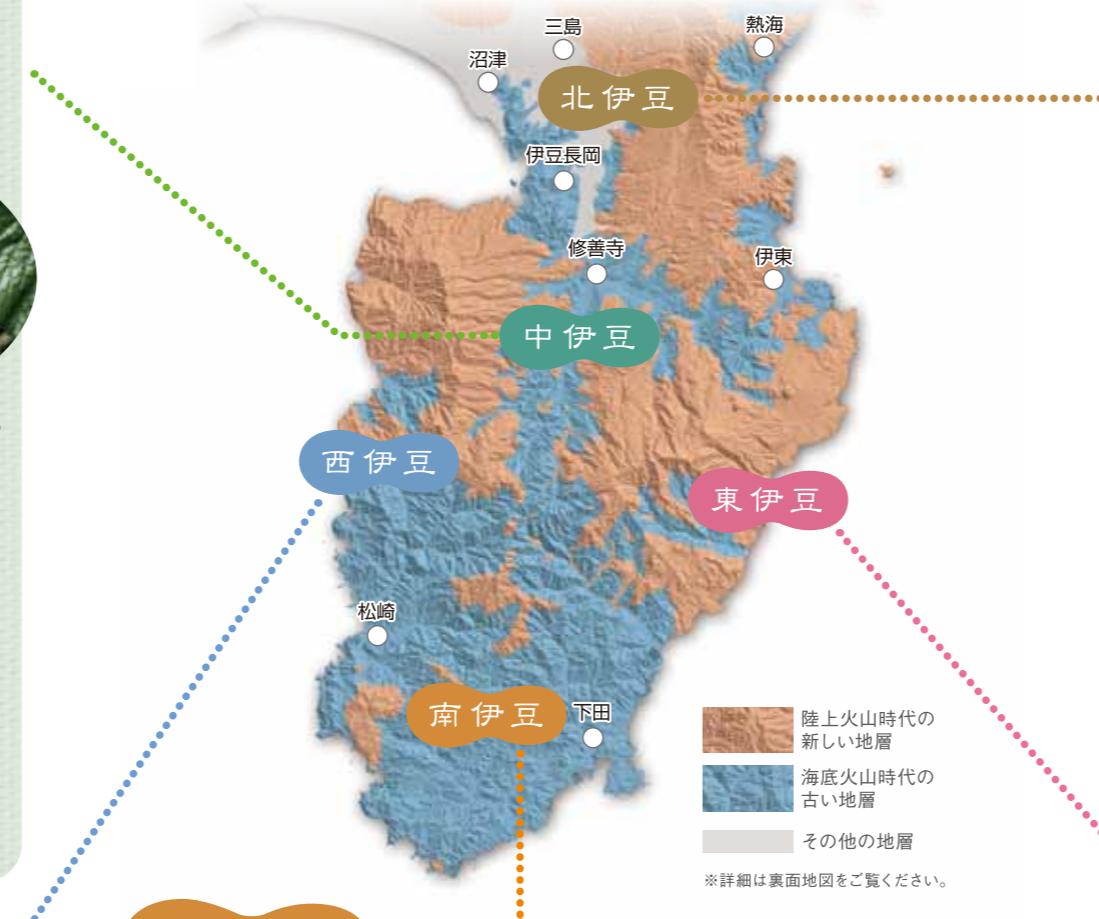


タカアシガニ

深い海に棲む大きなカニ。近海に深い海を持つ西伊豆の特産。食卓にあがった姿は迫力満点。

こうして誕生した伊豆半島は、大きく  
「海底火山の時代の地層」  
「陸上火山の時代の地層」  
そして地域ごとに自然の特性を活かした歴史や  
文化が生まれ、今に息づいているのです。

※MAP○-○の番号は裏面の地図に対応しています。



### 南伊豆

## 風潮と交流の国

白い砂浜、縞模様の伊豆石、風待ち湊。

地層と潮風が織りなした自然の美しさと文化です。

弓ヶ浜や白浜をはじめ、白砂の海水浴場が印象的な南伊豆地域は、奈良・平安時代に鉄器製造で栄えた青野川水系や、江戸時代に江戸・大阪間の風待ち湊として栄えた下田港を有する潮風と交流の街です。主に海底火山の火山灰や軽石が作りだした地層からは、軟らかく加工しやすい凝灰岩の伊豆石が採取され、縞模様の美しい伊豆石を利用した民家の壁は、異国情緒あふれる下田の街並みにも独特のアクセントを与えています。

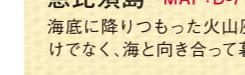
### 北伊豆

## 歴史と街道の国



恵比須島 MAP:D-7

海底に降りもつた火山灰が織りなす地層美。海底火山の記憶だけでなく、海と向き合って暮らしてきた人々の足跡ものこ。



# 伊豆半島の主なジオポイント

この地図は、各地がいつの時代にどのようにしてできたのかを示しています。

伊豆半島は、大きく「海底火山時代の地層」と「陸上火山時代の地層」に分かれます。地図は各時代の地層で色分けをしています。

大地の生い立ちを感じながら伊豆を旅してみませんか？



約1万年前の富士山の噴火では、ねばりけの少ない溶岩が遠く三島まで流れ下った。三島駅周辺では、溶岩が作るさまざまな造形や、溶岩のすきまからの湧水が美しい景観を生み出している。この荒々しくも美しい場所は、明治維新で活躍された小松宮彰仁親王が別邸として造営し、楽寿園として公開されている。

JR三島駅南口より徒歩すぐ



特異な岩山の風景が人々の目を引く城山は、かつて海底火山の地下から上昇してきた「マグマの通り道(火山の根)」。古昔にはその周囲に火山などが堆積し、大きな山をなしていたが、のちの浸食によって硬い岩盤である「火山の根」だけが洗い出された。山頂までのハイキングで、狩野川を望む絶景を楽しむことができる。

伊豆箱根鉄道 大仁駅より徒歩約15分



プレートの沈み込みによる深海が生み出したタカアシガニの水揚げで有名な戸田港。その入口にある御浜岬は、海流の作用により土砂が運ばれてできた岬である。岬にある戸田造船郷土資料博物館・駿河湾深海生物館ではタカアシガニの標本や、安政東海地震の津波で被災したロシア軍艦ティアナ号の錨を見学できる。

東名高速道路 沼津ICより車で約70分



約1万7000年前の噴火で鉢窓山のふもとから流れ出した溶岩は、谷を埋め立て、この美しい滝を作りだした。滝の岩盤には、溶岩が冷える過程で作られた規則的な柱状の割れ目(柱状節理)が形成され、流れ落ちる滝のための美しい舞台を作り出す。滝の周囲には県指定天然記念物ハイコモチシダも自生。

伊豆箱根鉄道 修善寺駅よりバスで約35分

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。承認番号 平24情使、第16号



温泉も火山の恵み。割れ目や隙間の多い火山噴出物は、地下水を多く蓄える。地下水は火山起源の高い地熱で温められ、岩石中から様々な成分を溶かし込んで温泉となる。熱海の伊豆山にある横穴式の歴史ある源泉・走り湯では、奥行約5mの横穴から湯けむりとともに温泉が走る。

JR熱海駅より徒歩約20分



玄岳は、約70万~30万年前に活動した多賀火山の東側が浸食されて残った地形。伊豆スカイラインの玄岳ICから天城高原方面に向かってすぐに「西丹那 駐車場」があり、ここからは、1930年に北伊豆地震を起こした丹那断層でつくられた地形を望むことができる。

伊豆スカイライン 玄岳ICよりすぐ



約4000年前の噴火により作られた大室山は、伊豆東部火山群の中で最大のスコリア丘。ブリッジ型の山頂からは、このとき流れ出した溶岩がつくりだした城ヶ崎海岸などの造形を望むことができる。この美しい山体は、毎年2月の第2日曜日に行われる山焼きによって保たれている。国指定天然記念物。

伊豆急行線 伊豆高原駅よりバスで約25分



細野高原は、伊豆最高峰である天城山(伊豆を代表する大型火山のひとつ)の中にできた緩やかな斜面にある。秋になると一面のススキで埋め尽くされ、太陽の光でキラキラと輝くスキは黄金の海を感じさせるほど。また、高原にある4つの湿地帯では、珍しい湿生植物や草原植物も楽しめる。

伊豆急行線 稲取駅より車で約15分



約2万5000年前におきた噴火で天城山の南側に位置する登り尾火山から流れ出した溶岩は河津川に流れ込み、谷間を2kmほど流れ下った。その後の河津川の流れはこの溶岩を美しく磨き上げ、河津七滝を作り出した。遊歩道からは、溶岩にかかる、様々な表情を持った滝を次々に楽しむことができる。

伊豆急行線 河津駅よりバスで約25分